

# 低額・ゼロ回答 に抗議する

—24春闘 賃金交渉対立で終了—



# ひろしま

郵政産業労働者  
ユニオン広島支部  
(広島郵便局内)

郵政ユニオン本部は3月19日、第6回賃金交渉を開催しましたが、対立する部分が多く、甚だ不満であり、到底納得できるものではないが、これ以上交渉を積み重ねても進展が期待できない、とし交渉を終了しました。



2022年度から2024年度の3年間の物価高騰により、2021年度と比べた年間家計負担

が1世帯当たり28万円増えるという試算が出ています。

郵政ユニオンは今年の春闘を、物価高騰から暮らしを守るたためかいと位置づけ、「大幅賃上げ」「非正規社員の正社員化と均等待遇」などを求め交渉を積み重ねてきました。



結果は、ご存じの通り、従来から郵政ユニオンが要求してきた健康診断や人間ドックについて一定の前進はあるものの、正社員は平均月5100円の低額ベア。若年層には最大1万2200円ですが、中堅以降は2800

円に抑え込むものです。

さらに郵政労働者の4割にあたる時給制契約社員の賃上げは昨年続きゼロ回答です。現場を支える非正規社員を大切にしない企業に未来はありません。



労働組合にとって一番大切なことは、立場の弱い人をいかに助けていくかということです。

非正規社員の賃上げゼロを糾弾し、郵政ユニオンは希望をもつて働ける職場をめざし、今後も奮闘していきます。

郵政ユニオン広島支部の組合事務室を獲得しよう! 会社は組合事務室を貸与せよ!